

# 誇れる姫路を未来へ!!

姫路市議会議員 塚本進介

2016年5月18日



# 当初から掲げている目標

a. 経済を活性化し、力強い姫路を発進します！

b. 住みやすい、安心、安全な姫路を発信します！

c. 1日過ごして、楽しかったと思われる  
城下町に！

d. 健全な投資と今ある資産の見直しの推進

# 選挙の思い出と感謝



# 市役所の仕事と市議会議員

## 1 市役所の監査

## 2 合意形成 (含む、情報発信や収集)

## 3 政策立案

**前提**

選挙で通る。法令を順守する。

※新人が思うことなので、間違っていたら申し訳ございません。

# 住民サービス <市役所編>

## 地域活動：行事、役割、お手伝い



※緊急は全てに優先されます。  
※市役所職員、自治会長、  
がされることのお手伝い  
などをさせていただきます。

- 助成金申請書類
- 企業アイデア
- 推薦文の作成

- 中学校の雨漏り対応など  
修繕推進
- 小学校のトイレ部洋式  
化
- 小学校校庭のトイレ、  
間仕切り、電気設置
- 目的外利用の円滑な推進
- 通学路の整備
- 幼稚園のイベント内容充  
実や参加での手伝い

- 介護支援
- 子育て行事
- 地域包括支援セン  
ターの活用推進

- 公園の遊具整備
- 公園の花木のこと
- トイレのこと
- 倉庫設置や土入れ

- 道路の穴の修繕
- カーブミラー設置・修  
正
- 上下水道の水漏れ対応  
などの修繕
- 市道の市道への転換と  
舗装など修繕

- 指定管理施設や業務の  
確認
- 不良備品の修理手配
- 好古園の備品整備
- お堀の水の劇的な汚れ
- 自転車置き場の利用推進  
(看板設置)
- 社会実験の状況確認

- 窓口の確認  
例えば、
- 不登校
  - 介護保険
  - 生活支援
  - ゴミ
  - 防災、防犯
  - 施設利用やイ  
ベント後援

- 河川でのゴキブリ  
大量発生
- 溝蓋の設置
- 川の浚渫(県)

会社

学校

家

公園  
緑地

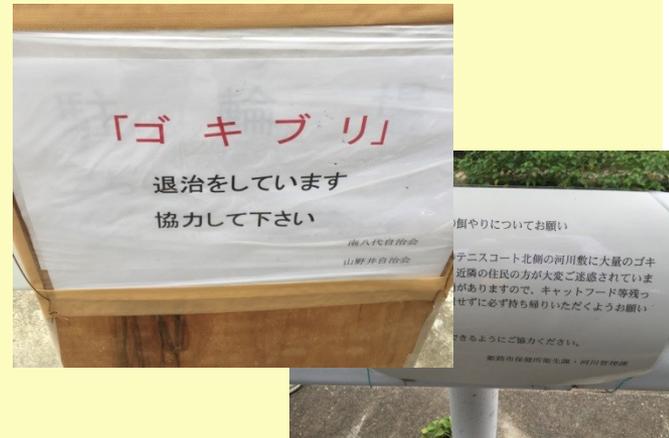
道路

河・川・溝

城  
好古園など  
市の施設

市役所

# 各種イベント・お祭り・地域活動



# 姫路市のデータ

<人口・世帯数・面積> (2015年3月)

人口535,335人 世帯数212,965 面積534.34km<sup>2</sup>

<予算規模> (2016年度)

全会計合計3,973億円 (過去最大) 一般会計2,181億円

投資的経費406億円

(補助事業費134億円▲12億円 単独事業費272億円+25億円)

収支不足は37億円で前年度▲1億円

※歳入－歳出＝投資的経費となりがちだが、バランス良い

<域内GDP (実質)> (2014年度)

23,711億円

# 人口構成と推移から想像した特徴

校区別年齢(5歳階級)別人口(2015年9月末、2010年、2005年、2000年)

校区名	計	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
姫路市	直近	-140	-147	-31	-979	-518	92	-161	-106	-142	-276	-374	-875	-1,833	-2,222	-2,792
城乾校区	直近	69	-2	-13	-31	-76	-2	33	33	-17	6	-11	-2	-41	-20	-39
	前回	22	12	-18	-20	-40	3	-1	16	-3	-4	-22	-21	-29	-30	-55
	前々回	36	-10	-15	-74	-68	-8	10	19	-43	-15	-44	-50	-31	-43	-46

2015

2010

2005

2000

- (1) 姫路市、城乾校区ともに20歳～29歳の流出
- (2) 城乾校区では9歳以下、35歳～44歳が特徴的

更なる特徴の強化！目指すべき、市全体と各まちの特徴！

# <地域の拠点> 城乾校区の例

## <スローガンや目標>

城乾小学校：

城乾中学校：

城乾幼稚園：

日ノ本幼稚園：

兵庫県立大学：

城乾公民館：

姫路市文学館：

城乾市民センター：

城乾地域包括支援センター：

兵庫県こども家庭センター：

デイサービス：

フレッシュ新在家：



①こんなところもあります



②すばらしい城乾校区を皆で作らしましょう！！

## <各種団体>

連合自治会、自治会8町、老人会、子供会、消防団など

# 老朽化！！



# 老朽化！！今後の対応！！！！



## 姫路市公共施設等総合管理計画

姫路市が保有するすべての公共施設等について、現状の規模で改修・更新等を実施した場合、今後40年間で約1兆6,322億円、1年あたり換算で約409億円が必要となります。

例えば一般会計の現在の投資額水準では約20億円が不足しています。

# 従来からの行政の思考と優先順位を考える

※下記A. B. Cは順不同です。

**A 公平性と緊急性**

**B 必要性** (色々な意味があります)

**C 実現可能性**

「法律、規則、前例」「まちの声！機運！政治！」「市の財政、国・県の支援、民間との連携！」

＜従来から普遍＞ 最小限の費用で、最大の効果を！！

# 具体的な事例で考えてみる

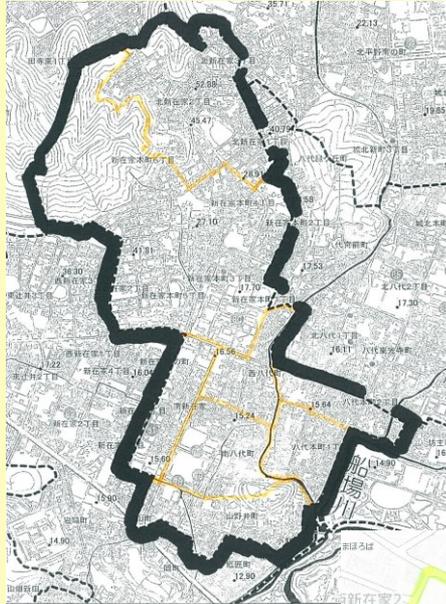


姫路市の  
未活用財  
産の有効  
活用

カーブミラー  
や道路舗装



# まちの現時点での情報発信



＜地区整備＞

新在家本町5丁目  
新在家本町3丁目  
西新在家2丁目



＜城北線＞

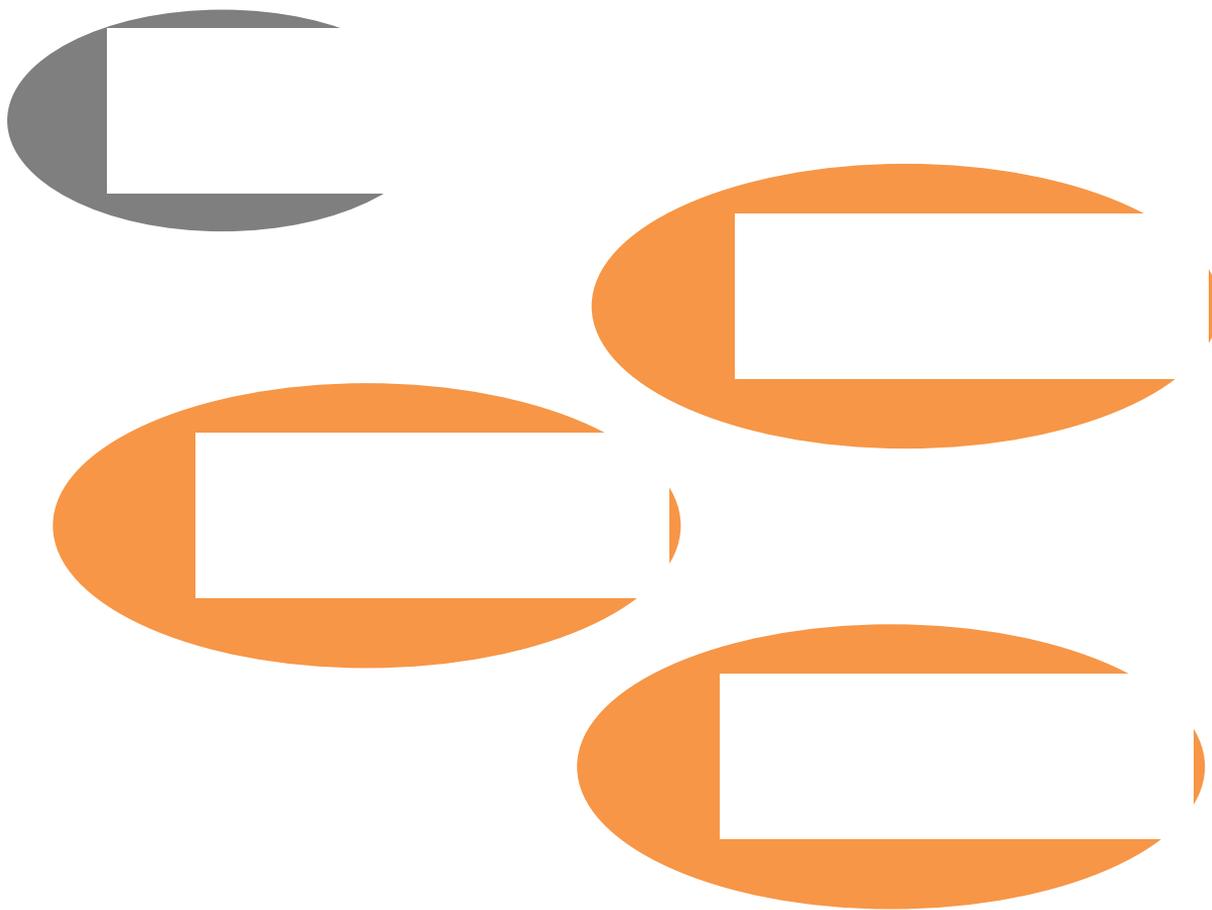


＜通学路 溝蓋＞

他にもガードレールや歩道整備（歩行者溜り）の検討事項もあります。

地域団体などが企画するイベントのサポートも予定しています。

日本の課題に姫路市から取組んでみたいのです。



キーワード

自助、共助、公助の見直し。つながりの再構築。  
地域から必要とされる議員になります！！

# 当初からの目標と各種構想について

1. 経済を活性化し、力強い姫路を発進します！
2. 住みやすい、安心、安全な姫路を発信します！
3. 1日過ごして、楽しかったと 思われる城下町に！
4. 健全な投資と今ある資産の見直しの推進

**a. スポーツ医療センター構想**

**b. 地域コミュニティ拠点整備構想**

**c. 世界に発信する姫路城の再整備構想**

**d. 公民連携推進プログラム設置構想**

**e. 力強いまちづくり再構築構想（都市計画編）**

# ポテンシャル！こんなにたくさん計画があります！

## 姫路の主要プロジェクト

### ●地方創生

本市の人口動向を分析し、将来展望を示す「ひめじ創生人口ビジョン」と、今後5か年の目標や施策の基本的な方向性を提示する「ひめじ創生総合戦略」の策定に向けた取り組みが進められています。

### ●連携中枢都市

播磨圏域の6市8町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結しました。

### ●中心市街地活性化

平成27年3月に新たな中心市街地活性化基本計画の認定を受け、4月から「人々が行き交いまちの鼓動が聞こえる城下(まち)」をテーマとして第2期計画がスタートしました。今後5年間、タウン・エリアマネジメントを視野に入れた取り組みが行われていきます。

### ②大手前通り再整備

姫路駅北駅前広場のリニューアルに伴い、当市のシンボルである大手前通りの再整備が進んでいます。現在、十二所前線と交差する南側のエリアが完成し、十二所前線以北については、引き続き整備の検討が行われています。

### ③姫路城グランドオープンを活かした観光の振興

平成21年10月より約5年の歳月をかけ屋根瓦および外壁の補修、構造補強を行った工事が終了し、平成27年3月27日にグランドオープンを迎えました。今後、さまざまな観光施策が展開されます。

### ④JR姫路駅・御着駅間の新駅設置

開発が進むキャストィ21地区や阿保土地区画整理区域などの周辺市街地の土地利用の促進や、周辺住民の利便性および周辺公共施設へのアクセスの向上を目的として設置されます。開業は平成28年春頃の予定です。

- ①姫路駅周辺地区整備事業「キャストィ21」
- ④JR姫路駅・御着駅間の新駅設置



### ①姫路駅周辺地区整備事業「キャストィ21」

姫路駅周辺地区において、「播磨の玄関口としてふさわしいまち」を目指し整備が行われています。機能別にエントランス・コア・イベントゾーンの3エリアで構成されており、これまでは新駅ビルや駅前広場等、エントランスゾーンを中心に整備が行われてきました。また、南駅前広場についても交通結節機能の向上に向けた再整備が検討されています。

### ⑤播磨臨海地域道路網

播磨臨海地域道路は、全長約50kmにおよぶ道路で、国道2号バイパスの渋滞解消の切り札として、整備が必要不可欠となっています。この道路を核として、播但連絡道路や国道2号バイパスとの接続道路などの南北交通を含めた道路ネットワークが、播磨臨海地域道路網構想です。

## 他にも

- ①ホテル、病院、文化センター、南駅前ロータリー
- ②大手前通り整備
- ③プラス1 (圓教寺、本徳寺)
- ④阿保地区
- ⑤臨海部の工業地帯、港湾その他道路
- ⑥手柄山周辺
- ⑦市場
- ⑧SACLA、スプリング8
- ⑨城前の展示場
- ⑩花北モール

など

事業費の合計額が  
100億円超が複数件

# 3回目となる6月定例会での質問（案）

**エンジンを作ること！つながり（連携）を大切にすること！  
歴史を大切にすること！今ある資産を有効活用すること！**

1. 新人らしさ	2. 姫路の可能性	3. 前向きな答弁を引き出す	4. 経済分野に力点
(1)大きな声で元気よく	(1)地政学的事項	(1)否定的なことを言わない	(1)時節を捉えた
	(2)歴史と文化に係ること	(2)過去の事例にふれない	(2)出来るだけ具体的に
	(3)保守的でつながりを大切にしていること	(3)方面の違う答弁を受ける	(3)若者らしい視点で

【現時点での案】 2016年6月（一括方式もしくは複合方式）5項目、21点

分野	1. 強いまちづくり	2. 経済	3. 行財政改革	4. 地方創生	5. 財政
概要	災害に強いまちづくり	経済活性化への姫路市の取り組み	市の所有財産の積極的な活用	地方創生戦略の推進	目指すべき財政規模
質問 タイトル	(1)企業におけるBCM、BCPの策定状況の把握について (2)老朽化している危険な建物の把握と、対応について (3)有事への受援体制の構築と、備蓄対応について	(1)地域商圏振興条例の検討について (2)公民連携における付加価値と、地元企業の育成について (3)専業所税について (4)姫路城の観光産業での更なる活用について（実績と見込） (5)姫路城の観光産業での更なる活用について (6)都市計画法の各区域指定とまちの広がり	(1)学校施設の利用状況について (2)公民館建物の利用状況と今後の可能性について (3)イーグレひめじの利用状況と今後の可能性について	(1)姫路の政務官職成と市民への配布資料について (2)自治会等の地域団体やボランティア団体に対する行政支援について (3)地域包括支援センターの役割とサービスの提供対象について (4)イベントができる施設の現状について (5)競技スポーツへの支援基準について (6)待機児童と幼稚園、保育園の公共性について	(1)合併特例債から考える、姫路市全域への行政サービスについて (2)今ある行政サービスにかかるコストを前提とした、将来にわたる「投資的経費」の見直し (3)今後の行政サービスにかかるコストの削減見直し

6月10日金曜日もしくは13日月曜日です。傍聴も可能です。ご都合のよろしい方は事務所迄、お問い合わせください。

ご清聴ありがとうございました。

気になった点や要件に関するご意見、  
ご要望、アドバイスは小生迄お願い  
致します。

## 連絡先 塚本しんすけ事務所

〒670-0901 姫路市西二階町15 西二階町つみ木ビル1 F  
TEL.079-226-1221 FAX.079-226-1222  
メール [kob7@krf.biglobe.ne.jp](mailto:kob7@krf.biglobe.ne.jp)